

交渉後の うれしい要求実現

高石市
支援学級
iPadに

高石市教育委員会は、
小中学校の支援学級に一
台ずつ「iPad」を導入
することを決めました。
先日にはそのための研
修も行われました。
「iPadを購入して
ほしい」の声や要望は、
泉北教組・障害児教育部
のアンケートでも多く寄
せられていました。
交渉で教育委員会は
「タブレットの必要性は
認識している。予算獲得
に向け努力している。」
と回答していました。



忠岡町
小学校保健室
電話設置

忠岡町教育委員会は、
小学校2校の保健室に電
話を設置することを決め
ました。

交渉で教育委員会は
「保健室に電話が配備さ
れていない状況について
は、課題があると認識し
ている」と回答していま
した。

これで、急を要する事
態が起こっても、直接保
健室から関係機関に連絡
ができるようになります。

子ども達に最善のものを

「中原教育長のパワハラ」に対する 大阪府教育委員会に 真相究明と厳正処分を求める要請書」提出しました

……さて、昨年10月29日の教育委員会会議において、立川さおり教育委員が文書で、中原教育長の自らへのパワハラを告発し、大きな衝撃が大阪をはじめ全国に広がっています。

内容は認定子ども園をめぐる中原教育長と立川委員との議会での答弁内容に関する会談の中で、「人数は少人数が理想だと思う」と言ったことに対し、中原教育長が「何をいってるんですか。母親とか、理想的とか、教育委員なんだから、個人の意見を（府議会の参考人答弁）披露する場ではない。課長が用意した通りに言えば、いい」「（子どものためと言ったら）誰のおかげで、教育委員でいられるのか、他でもない知事でしょう。その知事をいきなり刺すんですか。知事だけではない、今、進んでいる施策も全部、無茶苦茶になる。台無しになる」など、明らかにパワハラととれる暴言を立川教育委員におこなったことです。

この告発を受け、11月7日の臨時教育委員会では、中原教育長による

立川委員へのパワハラ

大阪府教育委員会事務局の職員へのパワハラ

この間の教育委員会会議での会議のありようや威圧的発言の3点に関し、第三者委員会の設置とその依頼を大阪弁護士会に依頼することを決定しました。12月22日の教育委員会会議に、立川委員へのパワハラに対する設置委員会からの報告書が陰山教育委員長に提出されたことが明らかになっています。

大阪の教育行政の最高決議機関である教育委員会会議の教育委員等に、中原教育長が一連のパワハラをおこなったとすれば、そのような人物に教育そのものを語る資格がないことは明らかで、教育長の資質そのものが問われることとなります。一連のパワハラに対して、厳正な対処がなされなければならないことも明らかです。

同時に、中原教育長のパワハラが続く中、この1年間の教育委員会会議において、実教出版の高校教科書の条件付き採択や公立高校新入試制度、池田北高校と咲洲高校の募集停止が決定されたとすれば、大阪の教育にとって取り返しのつかない状況が生まれていることとなります。健全な大阪の教育を取り戻すためにも、一刻も早い教育委員会の正常化が求められます。

このような重大事態に関して、貴委員会に対し次の3点での要請をおこないます。

要 請

1. 中原教育長の一連のパワハラ発言に対し、真相究明をおこなうこと。
2. 府民が納得する、厳正な処分をおこなうこと。
3. 一刻も早い、教育委員会の正常化をおこなうこと。

泉北教組に加入して、「評価・育成システム」をなくそう